

第 17 回 市民動物園会議

平成 25 年 2 月 7 日 (木)

14 : 00 ~ 16 : 00

円山動物園プラザ

< 次 第 >

- 1 平成 24 年度来園者状況について
- 2 基本計画の公表について
- 3 スノーフェスティバルについて
- 4 前会議における各委員からの意見等について
- 5 新着動物等について
- 6 その他

【配布資料】

- 資料 1 来園者状況
- 資料 2 - 1 基本計画改訂案 (概要)
- 資料 2 - 2 札幌市円山動物園 基本計画 (改訂版) 案 意見募集の結果について
- 資料 3 円山動物園スノーフェスティバルの広報について、チラシ
- 資料 4 市民動物園会議における各委員からの意見について
- 資料 5 主な新着動物・出産状況等

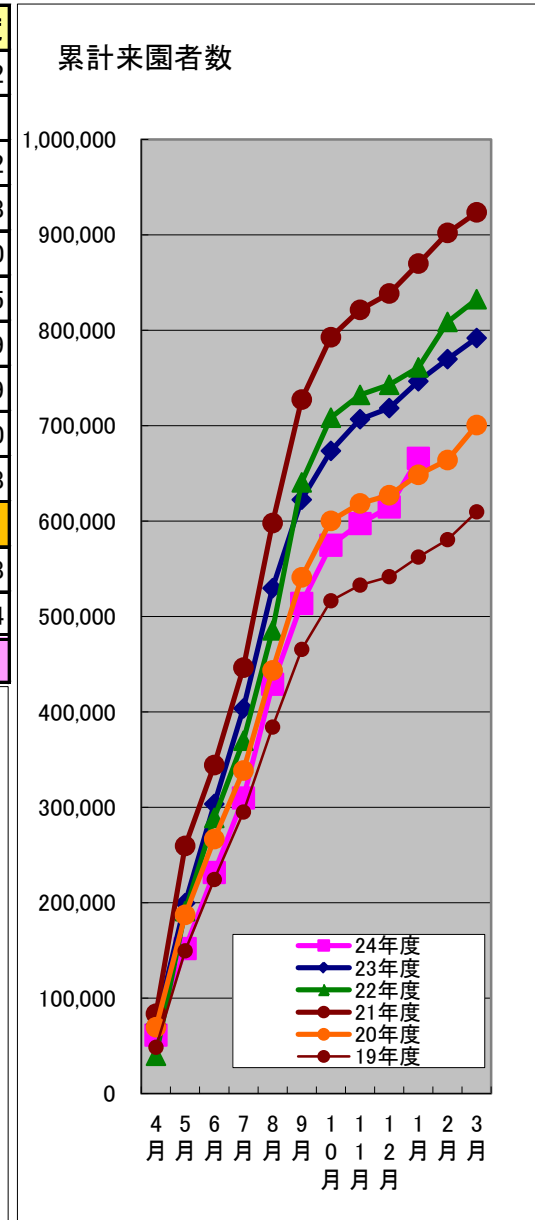
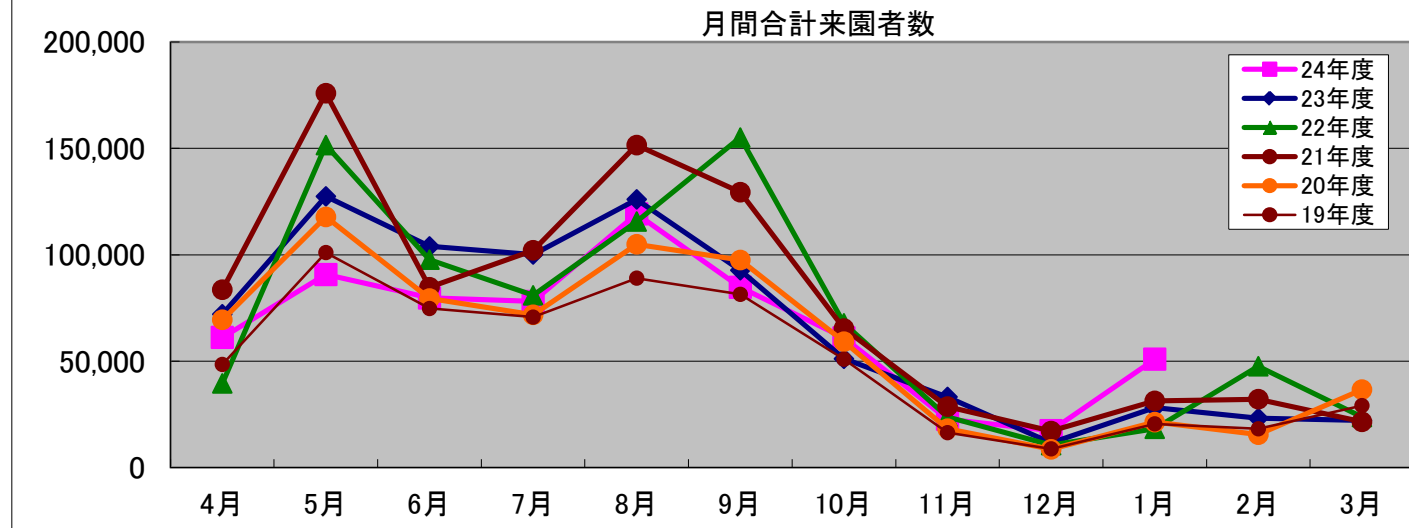
来園者状況

◆月別合計来園者数比較

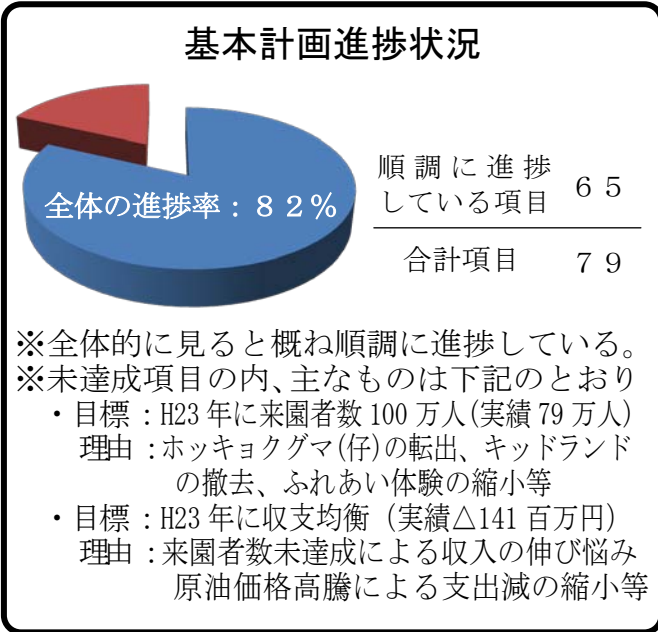
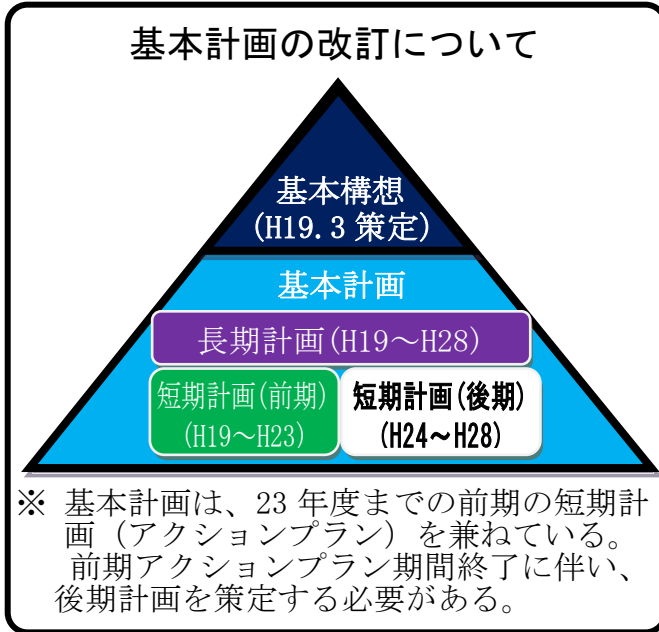
月計	24年度	前年度比	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
4月	61,201	84.9%	72,066	39,570	83,593	69,473	48,482
5月	90,717	71.2%	127,432	151,529	175,899	117,781	101,049
6月	79,708	76.7%	103,931	97,718	84,734	79,435	74,761
7月	78,076	78.0%	100,141	80,939	102,111	71,801	70,716
8月	119,222	94.6%	126,030	115,635	151,523	104,934	89,032
9月	84,731	91.4%	92,733	155,072	129,400	97,537	81,415
10月	60,943	119.2%	51,146	67,797	65,337	59,170	50,934
11月	22,735	68.4%	33,220	23,888	28,686	18,300	16,430
12月	17,388	149.7%	11,613	10,588	17,169	8,599	8,831
1月	50,974	181.2%	28,127	18,255	31,363	21,389	20,568
2月			23,202	47,634	32,157	15,490	18,250
3月			22,113	23,794	21,531	36,649	29,146
4-1計	665,695	89.2%	746,439	760,991	869,815	648,419	562,218
合計	665,695		791,754	832,419	923,503	700,558	609,614

◆累積グラフ

累計	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
4月	61,201	72,066	39,570	83,593	69,473	48,482
5月	151,918	199,498	191,099	259,492	187,254	149,531
6月	231,626	303,429	288,817	344,226	266,689	224,292
7月	309,702	403,570	369,756	446,337	338,490	295,008
8月	428,924	529,600	485,391	597,860	443,424	384,040
9月	513,655	622,333	640,463	727,260	540,961	465,455
10月	574,598	673,479	708,260	792,597	600,131	516,389
11月	597,333	706,699	732,148	821,283	618,431	532,819
12月	614,721	718,312	742,736	838,452	627,030	541,650
1月	665,695	746,439	760,991	869,815	648,419	562,218
1月末時点 前年度比	82.5%	97.2%	88.1%	134.4%	116.2%	-
2月		769,641	808,625	901,972	663,909	580,468
3月		791,754	832,419	923,503	700,558	609,614
3月時点 前年度比		95.1%	90.1%	131.8%	114.9%	-



来園者増の主な取組



日本を代表する「ホッキョクグマの赤ちゃん」が生まれる動物園

- 2000 年以降、自然繁殖に成功しているのは、国内では円山動物園が唯一であり、双子が産まれた平成 21 年度の来園者数は、前年度比 30% 以上増
- 施設改修を行い、より繁殖しやすい環境をつくるとともに、世界基準の施設を新設し、国際種情報システムを活用しながら、海外動物園と動物交換

日本でここだけの「冬の魅力を伝える動物園」に

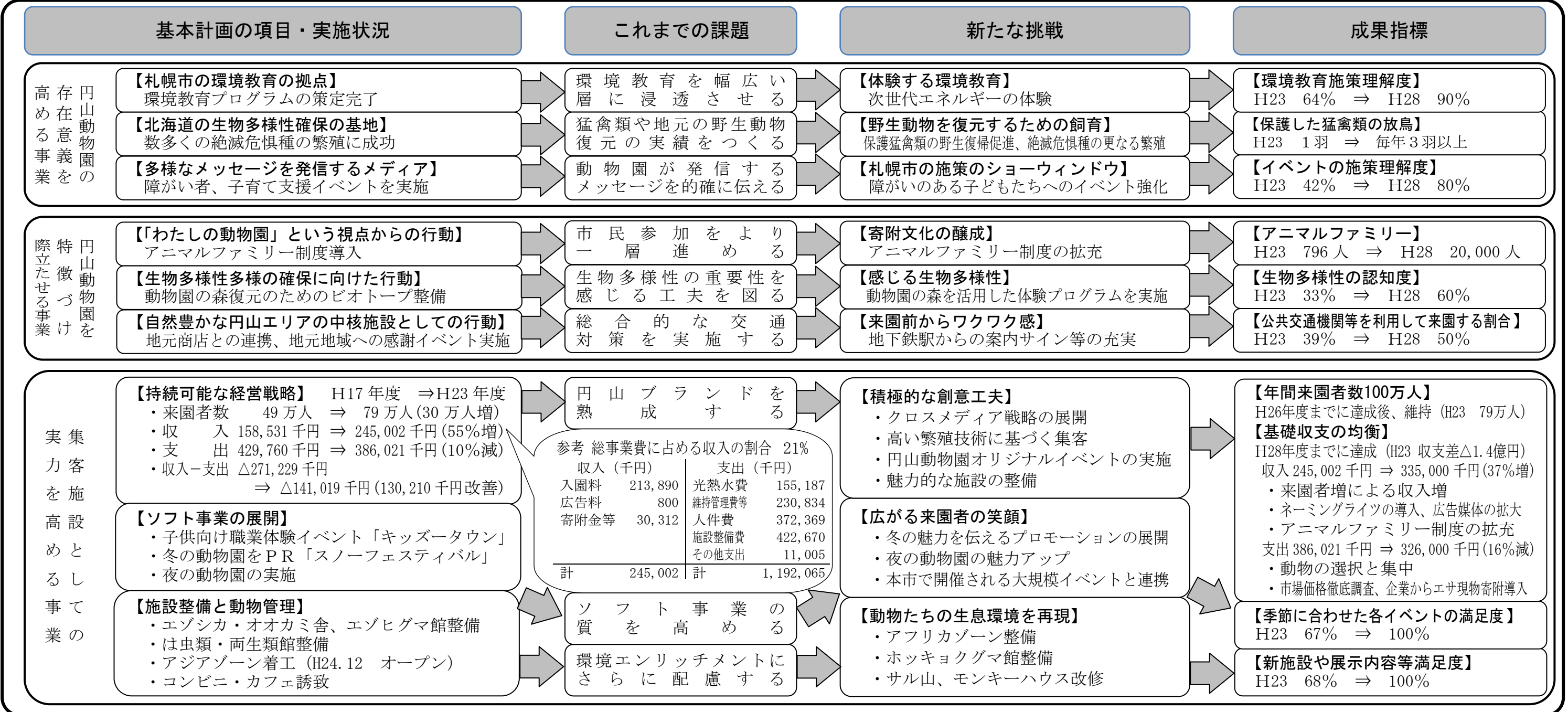
- スノーフェスティバルをさっぽろ雪まつりと同時期に開催し、本市全体で観光客をおもてなし
- 巨大かまくらにプロジェクションマッピングを施し、幻想的に演出
- スノーフェスティバルを無料入園 (公募による企業協賛) とすることで観光客に、また、正月 3 日目を無料入園にすることで市民に対して冬の魅力を伝える

「アジア・アフリカゾーン」のオープン

- アジアの環境の多様性ととも、希少種の保存や生息域保全の大切さを伝えるアジアゾーンが本年オープン
- アフリカのサバンナと水辺の動物を展示し、肉食・草食動物の共存、食物連鎖、生命循環を伝えるアフリカゾーンが平成 27 年度にオープン

「クロスメディア戦略」による円山ブランドの効果的な情報発信

- 最新の情報ツール (Facebook、Twitter、Youtube) を活用した PR
- 映画館、地下歩行空間等の都心部における動画を活用した情報発信、ブログフリーペーパーの発行
- 来園者特典付きの年間パスポートブックの発行
- インパクトがありワクワク感のあるラッピングシャトルバス運行



円山動物園は「人と動物と環境の絆をつくる動物園」を目指すため新たな挑戦を続けます！！

挑戦-8
広がる来園者の笑顔

ソフト事業の「選択と集中」を行い、検証を行いながら重点化した上で最大限の効果（来園者の満足度）をあげます

- ・冬の魅力を伝えるプロモーションの展開
- ・キッズタウンの開催
- ・夜の動物園の魅力アップ
- ・本市で開催される大規模イベントと連携



挑戦-9
動物たちの生息環境を再現

環境エンリッチメントに配慮し、動物が生息している自然環境をできるだけ再現し、動物本来の行動を引き出します。

- ・アジア、アフリカゾーン整備
- ・ホッキョクグマ館整備
- ・サル山、モンキーハウス改修



挑戦-1
体験する環境教育

動物たちとのふれあいを楽しみながら、地球環境問題と、本市が取り組む次世代エネルギーを身近に体験できるようにします

- ・いのちを感じる動物とのふれあい
- ・見て触れる次世代エネルギー
- ・学び考える環境イベント



挑戦-2

野生動物を復元するための飼育

猛禽類や地元の身近な生物であるニホンザリガニやオオムラサキ等の野生動物を復元します

- ・保護した猛禽類の野生復帰促進
- ・ニホンザリガニを繁殖、放流
- ・海外動物園と動物交換



人と人とのコミュニケーションの拠点

動物園の使命

レクリエーション機能
環境教育
種の保存
調査・研究

円山動物園の特徴

都心に近い動物園
円山原生林に隣接
円山エリアの中核施設
札幌市の観光施設

人と動物と環境の絆をつくる動物園

主な成果指標

- ・平成 28 年度までに環境教育施策理解度 90%を目指します（現状値 64%）
- ・平成 28 年度までに公共交通機関等を利用して来園する割合 50%を目指します（現状値 39%）
- ・平成 26 年度までに年間来園者数 100 万人を目指します（現状値 79 万人）
- ・平成 28 年度までに基礎収支の均衡を目指します（現状値△1.4 億円）

使命を果たす

特徴を際立たせる

挑戦-7
積極的な創意工夫

来園者をひきつけてやまない円山ブランド（円山動物園独自の魅力）を熟成させていくことにより来園者 100 万人を目指し、基礎収支の均衡を図ります

- ・クロスメディア戦略の展開
- ・高い繁殖技術に基づく集客
- ・円山動物園オリジナルイベントの実施



挑戦-6
来園前からワクワク感

円山エリア活性化、環境配慮、渋滞緩和のため、公共交通機関を利用して、楽しみながら来園することができる仕掛けをつくります

- ・地下鉄駅からの案内サイン等の充実
- ・都心からの直通バス運行
- ・渋滞緩和対策実施



挑戦-5
感じる生物多様性

人間と自然の生態系との調和、生物多様性の意義を体験するプログラムを定期的で開催することで、生物多様性の重要性を普及します

- ・動物園の森を活用した体験プログラムを実施
- ・昆虫観察会等のイベント実施
- ・市民連携による外来植物駆除



挑戦-4
寄附文化の醸成

動物園が新たな取り組みを続けていくために、市民や企業から寄附という形で動物園を支援する仕組みをつくります

- ・アニマルファミリー制度の拡充
- ・市民参加の機会の拡大
- ・産学官連携の拡大



挑戦-3
札幌市の施策のショーウィンドウ

円山動物園に来ただけで札幌市の様々な施策がわかる施設をめざし、これまで以上に楽しく、わかりやすく、しっかりと伝えていきます

- ・障がいのある子どもたちへのイベント強化
- ・市民芸術文化を促進
- ・札幌観光の魅力を発信



円山動物園施設改修スケジュール

基本計画(改訂)					次期基本計画
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29~33年度
①アジアゾーン 新設(H24.12オープン)					
	②遊具広場 新設(H25.4オープン)				
		③モンキーハウス 改修			
			④アフリカゾーン 新設		
				⑤サル山 改修	
					⑥カンガルー館 改修
					⑦第1駐車場エレベーター 新設
					⑧ホッキョクグマ館 新設
					⑨熱帯鳥類館 改修(南米アマゾン館)
					⑩総合水鳥舎 改修(ペンギン舎)

<建設予定地>



札幌市円山動物園 基本計画（改訂版）案 意見募集の結果について

「札幌市円山動物園 基本計画（改訂版）案」について、パブリックコメント手続きを実施したところ2名から11件の貴重なご意見をいただきました。

このたび、いただいたご意見と、そのご意見に対する札幌市の考え方について公表いたします。

なお、お寄せいただいたご意見については、その趣旨を損なわない程度に取りまとめ、要約しておりますことをご了承ください。

1 意見募集の実施概要

(1) 実施期間

平成24年12月12日から平成25年1月11日までの31日間

(2) 資料の配布場所等

札幌市円山動物園経営管理課

市政刊行物コーナー（市役所本庁舎2階）

各区役所 市民部総務企画課広聴係

札幌市役所ホームページ

2 意見の件数等

(1) 意見提出者数

2名

(2) 意見件数

11件

(3) 意見の内訳

施設整備と動物管理について 4件

持続可能な経営戦略について 3件

自然豊かな円山エリアの中核施設としての行動について 2件

生物多様性の確保に向けた行動について 1件

多様なメッセージを発信するメディアについて 1件

3 意見の概要と市の考え方

番号	意見の概要	札幌市の考え方	区分
1	基本計画は、「野生動物を通じて」という主眼点を見失わずに立案する必要があります。動物の化石・剥製などの展示施設を設けて野生動物の置かれている環境や種の絶滅による生態系への影響（エゾオオカミの絶滅とエゾシカの食害）などを表すことによる種の保存の必要性を示すというような独自性のある整備、他の動物関係施設との連携を踏まえて立案される必要があると考えます。	円山動物園では、身近なところから環境問題を考えるきっかけにするため、「北海道・北方圏ゾーン」を整備しております。エゾシカ、オオカミ、ヒグマ、アザラシなど人と野生動物との関係や歴史を解説するとともに、地元の自然を守ることを啓発しています。また、他の研究機関等と横断的な連携を図り、猛禽類の野生復帰、オオムラサキやニホンザリガニなどの自然復元に取り組んでいます。今後は、これら円山動物園独自の取り組みとして、さらに充実したいと考えております。	施設整備

2	ゾウの導入を希望する多くの方々の願いの熱心な動きがありますが、難しい問題もあり、より慎重に検討される事を望みます。	市民からいただいた意見を踏まえ、ゾウの原産国(東南アジアなど)や先進施設を調査し、導入する頭数や飼育条件、またゾウ舎の計画等をまとめた基本計画を策定した上で、平成26年度に導入の可否を判断いたします。	
3	北方の動物を中心とした特色ある動物園を望みます。計画にも北海道・北方圏ゾーン整備強化となっていますが、大いに力を注いで個性ある動物園作りを望みます。	これからもホッキョクグマの施設を中心に、北方の動物の展示に力を入れます。	施設整備
4	ホッキョクグマの施設について、国内は勿論の事、国際的にも基準をクリアした充実したものに、改善発展することを願っております。札幌円山動物園と云えば、「ホッキョクグマ」となることを望みます。	平成25年度に海外動物園へ飼育条件や施設基準を調査することとしており、国際的な施設基準を満たすホッキョクグマ館を新設し、海外動物園のホッキョクグマと交換することを目指します。平成24年12月にも2頭産まれたことから、ホッキョクグマを円山動物園の代表的な動物として、これからも力を入れて飼育することにより、動物園のブランド力を高めていく予定です。	
5	「【寄付文化の醸成】アニマルファミリー制度の拡充」は、札幌市まちづくり戦略ビジョンでも「寄付文化の醸成」という同じ文言が記載されていたが、動物園の場合は特にその使命と機能、かつ勤務する職員の自助努力について充分理解される状況にする必要があると考えます。	市民をはじめ円山動物園を訪れるすべての来園者が、誇りをもって「わたしの動物園」と自慢してもらえるような動物園づくりを目指し、職員一丸で努力してまいりましたが、これからも市民や来園者の皆様の期待に応え、より一層努力いたします。	
6	民間企業並みの待遇やサービスを目標として、園長を頂点にアルバイト・臨時・正職員・飼育担当の方々・管理職に至るまで意識の共有の必要があると考えます。	研修や会議など様々な機会を徹底活用し、職員のみならず園内関係者の意識を共有するようにいたします。	経営戦略
7	園長は、動物に造詣の深い方か動物の専門的な知識を持つ方なる必要があると考えます。	園長をはじめ職員の異動については、本市の人事基本方針に則り、職務ごとの特性を踏まえ、業務上の必要性、人材育成上の必要性等を総合的に勘案して決定しているところであります。	
8	駐車場について、隣接競技場の野球開催等の関係で満車で利用不可の場合もあります。公共交通機関利用も当然とは言え、今や車社会であり、入園者増加にも影響することから、他の動物園の様に隣接地に専用駐車場を設置する必要があると考えます。	動物園周辺には専用駐車場を整備する土地がないこと、環境配慮や渋滞緩和を考慮すると、公共交通機関の利用を促進する必要があります。そのため、地下鉄円山公園駅から動物園までの案内サイン等の充実やラッピングシャトルバスの運行等を実施することにより総合的な交通対策を実施します。	円山エリア
9	地下鉄円山公園駅からバスターミナルまでの案内表示がわかりにくいので、何番乗場のバスであるか表示し、また、バスにも、動物園行のバスであることをもっと解りやすく車体横等に表示する必要があると考えます。	地下鉄円山公園駅からバスターミナルまでの案内表示については、交通局と改善に向けて協議しております。また、バスについては、円山動物園行と一目でわかるようなラッピングシャトルバスの運行を検討しております。	
10	園外において水系動物調査を行いデータベースを作成し、地元の関心を呼び起こす中で協力を求めて保存運動へ結びつけるというような施策を行う必要があると考えます。	市民、企業、大学等と連携し、動物園の森などの地元の生態系や札幌の原風景への復元作業を行いながら、動物園の森に生息する動植物を調査し、資料化する予定です。	生物多様性
11	視覚障がい者に対する誘導、音声説明、フィギュアによる触覚体験、聴覚障がい者に対する手話説明などを個人に対しても行えるように取り組む必要があると考えます。	これまでも来園された障がい者の方へアンケートを実施しながら、その意見を反映してまいりましたが、今後も障がい者の方からの意見を踏まえ反映していく予定です。	多様なメッセージ

円山動物園スノーフェスティバルの広報について

1 ポスター掲出

- (1) 園内、地下鉄駅、札幌駅前通地下歩行空間等に掲出した。
- (2) JR北海道バス車内掲出用のポスターには、札幌駅大通方面とのシャトルバス「円山動物園」号についても記載し、札幌近郊の路線バス約400台の車内に掲出した。
- (3) 動物園正門横の壁に「2月5～11日は入園料無料」との看板を掲示した。

2 動物園ホームページへの掲載

動物園のホームページでイベント内容などの詳細を掲載した。

3 プレスリリースによる告知

1月24日（木）に市政記者クラブの報道機関に対してプレスリリースを行った。すでに何社かのテレビや新聞等で報道され、問い合わせもあった。

4 チラシ作成・配布

A5版のチラシ「保存版・冬の動物園イベントスケジュール」を作成し、12～2月までのイベントを一覧表にして、来園者、イベント参加者、市内ホテル等に配布した。

5 動物園だよりの発行・配布

12月12日発行の「動物園だより冬号」に掲載し、市内小学校・幼稚園等に配布した。

また、動物園だより臨時号として「スノーフェスティバル特別号」を発行し、市内小学校等に配布するとともに、市内ホテル、観光案内所、商工会議所ボランティアに配布を依頼した。

6 広報さっぽろへの掲載

広報さっぽろ1月号に掲載した。

7 地下歩行空間でのイベント時のPR

2/4に札幌駅前通地下歩行空間でブログペーパーを配布する際、併せてPRを行った。

第64回さっぽろ雪まつり協賛行事

円山動物園 スノーフェスティバル

期間中 入園料無料

2013年
2月5日(火)~2月11日(祝・月)
9:00~17:00

2月10日(日)
夜間延長営業
9:00~20:00

円山動物園初!!
ファンタスティック
ナイトZOO



冬の動物園。
雪をあそぶ、



馬そりと、どさんこ馬への餌やり体験ができます。

馬ソリと餌やり体験 有料

2/9(土)~11(月・祝)の3日間 10:00~12:00, 13:00~15:00



開催期間中、周辺道路・駐車場が大変込み合いますので地下鉄・バスでご来園ください。

雪まつり期間限定

シャトルバス運行 円山動物園号

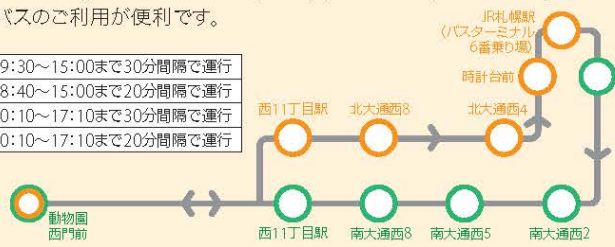
期間中は周辺道路・駐車場に混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください。札幌駅・大通公園よりバスのご利用が便利です。

【時刻表】

JR札幌駅発 札幌駅前 バスターミナル6番	【平 日】 09:30~15:00まで30分間隔で運行 【土日祝】 08:40~15:00まで20分間隔で運行
円山動物園前発	【平 日】 10:10~17:10まで30分間隔で運行 【土日祝】 10:10~17:10まで20分間隔で運行

【運賃】

おとな 200円
こども 100円



シャトルバスについてのお問い合わせは、ジェイ・アール北海道バス・琴似営業所 TEL.011-631-4111

主催/円山動物園、円山動物園おもてなしプロジェクト実行委員会
協 賛/北海道コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社セブン・イレブン・ジャパン
協 力/札幌ばいけい株式会社、エスベランサさっぽろ、連藤商店、株式会社スマップ 教育と産業研究所、NPO法人のこたべ、株式会社キッズプロモーション、円山西町町内会、円山動物園ボランティア会

円山動物園2013スノーフェスティバルについてのお問い合わせは

円山動物園
円山動物園おもてなしプロジェクト実行委員会
TEL.011-621-1426

■開園時間/9:00~17:00
■入 園 料/大人600円・中学生以下無料・団体(30名様以上)540円・年間パスポート1,000円

市民動物園会議における各委員からの意見等について

資 料 4
第 17 回 会 議

項目		意見等	動物園の考え
1	企業誘致、誘客について	企業誘致や誘客を行わないのか。	平成25年3月末までに営業用のパンフレットを作成し、動物園のホームページにこれまでの企業と連携した取り組みなどを紹介するページを掲載する準備を進めているところである。 なお、スノーフェスティバルに合わせて観光客の誘致を行うべく市内主要ホテルへの営業をすでに実施している。
2	アジアゾーンの効果について	アジアゾーンの効果（集客効果や満足度向上）を測ることは可能か。	現在、アムールトラ、ヒマラヤグマ、熱帯雨林館の屋外放飼場を開放しておらず、一部オープンの状態でありアジアゾーンの魅力が全て出ている状態ではない。グランドオープン後のゴールデンウィーク以降に前年同月の来園者を比較的長いスパン（曜日や天気があるので）で比較し効果を測っていききたい。 また、来園者に対して個別アンケートなどを実施することにより詳細なデータも集めたい。
3	ボランティアについて	イベント・PR時にボランティアやシニアの人を活用してはどうか。	現在もガイド、イベント、PR時にシニアや学生ボランティアを活用している。スノーフェスティバルについても学生ボランティアを活用しているが、今後も積極的に活用していきたい。
4	写真スポットについて	文教スタジオが有料であることについて表示方法を工夫するようにしたほうがいいのか。	園路から見える「撮影待スペース」に看板を設置し、シャッターサービスの無料、写真販売の有料についての表記を行った。
5	広報について	Twitter、Facebookについて、アジアゾーンがオープンする前までに開始してはどうか。	新規広報媒体として、11月上旬からブログペーパーの配布を開始した。また、Twitter、Facebookなどのソーシャルメディアについては、即時性、双方向性、拡散性が高いことが魅力であるが、公の機関が責任を持って運用するためには、一定のルールを定めて運用しなければならないことが課題であり、平成25年度の早期実施に向けて検討を行っているところである。

項目		意見等	動物園の考え
6	エゾリスについて	エゾリスが見えにくいので展示の仕方を工夫してはどうか。	現在「ドサンコの森」内に展示しているのは1頭だけであり、その他約10点のエゾリスをバックヤードにて飼育している。 繁殖期が終わった春季以降に展示数を増やす予定である。
7	イメージ戦略について	例えば、円山動物園をイメージすることができるステッカーを地下鉄などに貼ることはできないのか。	自動車に貼りつける円山動物園のロゴなどのステッカーを市民や企業に配布することを検討している。
8	PR方法について	札幌市内にPRが限定されているように見えてしまう。また、どのようにPRしていくか視点が欠けている。	観光文化局、東京事務所と連携し、道外でのPRイベント時に動物園のパンフレットを配布するなど市外に向けても積極的にPRを行っているところである。 中国の観光客については、北京事務所を通じてスノーフェスティバルに関して中国版Twitterや中国旅行会社にチラシを配布した。 東南アジア圏については、海外観光客の誘客を図るために、旅行会社と連携し、関係者を動物園に招待したところであり、今後も継続・拡大する予定である。
9	PRチラシについて	冬の動物園に焦点を当てたPRチラシをつくってみてはどうか。	「円山動物園だより冬号」を作成し、全小中学校に配布しているところであるが、全幼稚園・保育園にも拡大し、さらに観光ボランティアに街頭での配布を依頼したところである。 また、「冬の動物園イベントスケジュール」と「スノーフェスティバル」の2種類のPRチラシを作成し、区役所などの公共施設、市内ホテルや地下歩行空間でのイベント時に配布した。 なお、「スノーフェスティバル」のチラシは札幌ばんけいと協同で制作し、経費の節減を図った。

主な新着動物・出産の状況

月 日	内 容
10/31	マレーバクの子メス「ワカバ」をアドベンチャーワールド（和歌山県）から借受
11/8	コツメカワウソの子オス「サン」をサンピアザ水族館から借受
11/27	アジアアロワナ 10 頭を新規導入
12/7	アムールトラの子オス「タツオ」が帯広動物園から戻る。
12/8	ホッキョクグマ「ララ」出産 2 頭成育中
12/16	アオホソオオトカゲ 1 頭孵化
12/30	ホッキョクグマの「キャンディ」出産（1 頭死産、1 頭死亡）
1/10	ムツオビアルマジロ オス 1 頭メス 2 頭新規導入
1/10	オニオオハシ オス 1 羽メス 1 羽新規導入

主な転出動物・死亡の状況

月 日	内 容
11/19	ゼニガタアザラシの子オス「ミサキ」死亡
12/21	スローロリスの子メス 1 頭死亡
12/21	ビルマニシキヘビの子オス（アルビノ）1 頭死亡
1/7	コツメカワウソの子メス「コチカ」死亡
1/8	シンリンオオカミの子メス「キナコ」死亡
1/14	タンチョウの子メス「タエ子」死亡
1/15	ゴマフアザラシの子メス「ギョロ」死亡
1/25	チンパンジーの子オス「チャーボー」を北京動物園に向け転出